

## アルバルク東京×東洋製罐グループ アリーナでの包装容器の循環実現を目指し 「Re-CUP プロジェクト カップ救出大作戦」を始動

東洋製罐グループホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：大塚一男）は2022-23 シーズンよりアルバルク東京とSDGs パートナー契約を締結し、リサイクル可能な飲料用アルミカップ、および紙コップを資源として循環させるための「Re-CUP WASHER」を導入し、持続可能なアリーナ運営を目指して様々な検証を進めてきました。

3シーズン目となる2024-25 シーズンではこの取り組みをさらに継続・強化し、従来は紙コップだけを回収していたのをドリンク用プラスチックカップやフード用紙カップまで回収範囲を広げ、アリーナでの包装容器の循環実現をさらに推進する「Re-CUP プロジェクト カップ救出大作戦」を実施します。

### ルーク隊長に続け!!

## Re-CUP プロジェクト

# カップ救出大作戦

洗って分けて回収せよ!



### 1. 「Re-CUP プロジェクト カップ救出大作戦」企画概要

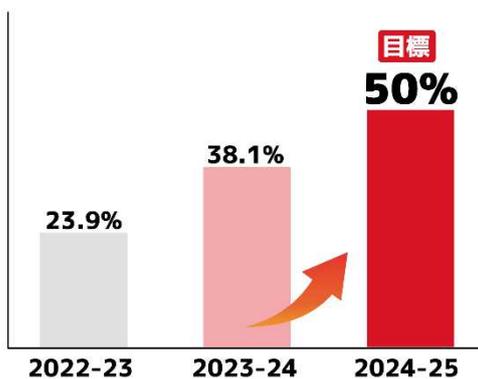
アルバルク東京と東洋製罐グループは、アリーナで提供されるドリンク・フード容器の完全回収およびリサイクルシステムの実現を目指しています。2024-25 シーズンでは持続可能なアリーナ運営に向けて「カップ救出大作戦」と題して、ドリンク・フード容器それぞれで新たな取り組みを開始します。

#### ◆ミッション1 ドリンク用紙コップを回収せよ!

#### Re-CUP WASHER 回収率 50%を目指します!

これまでの2シーズンにおける Re-CUP プロジェクトでの紙コップの洗浄回収率は、2022-23 シーズンが23.9%、2023-24 シーズンが38.1%でした（下表参照）。2024-25 シーズンでは洗浄回収率50%を目標とします。

## Re-CUP WASHER 回収率

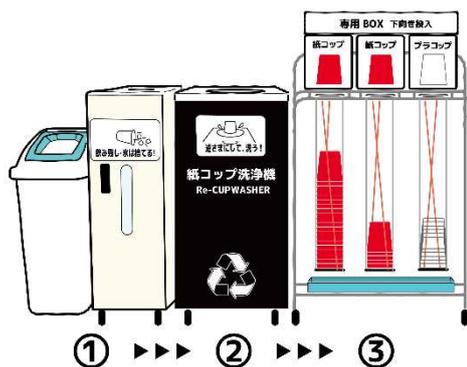


シーズン	2022-23	2023-24
提供数	68,807	77,224
回収数	16,431	29,385
回収率	23.9%	38.1%

※回収率は紙コップ回収重量より算出

### <Re-CUP WASHER の使い方>

- ① 飲み残しや氷を捨てる  
(レモンライスなどは燃えるごみへ)
- ② Re-CUP WASHER でカップを洗う  
(カップを逆さにプッシュ！)
- ③ 逆さまのまま回収 BOX に分別して入れる



### ◆ミッション2 ドリンク用プラスチックカップも回収せよ！

#### ドリンク用プラスチックカップの洗浄回収開始

これまでのドリンク用紙コップの洗浄回収に加えて、ドリンク用プラスチックカップについても洗浄回収を実施します。紙コップと同じように Re-CUP WASHER で洗って分別します。



### ◆ミッション3 フード用カップを回収せよ！

#### 2024-25 シーズンではドリンク容器に加えて、新たにフード容器も回収開始

ルークが目印の赤い大きめカップと、チームロゴが目印の黒い小さめカップはそれぞれ別々に回収しますので、回収ボックスの表示に従って分別してください。



## 2. Re-CUP 広報大使に平岩玄選手が就任！

活動を盛り上げるべく、アルバルク東京を代表して平岩玄選手が Re-CUP 広報大使に就任いたしました。飲料用・食品用の紙コップを再生可能な資源として循環させるため、アリーナにおける回収・洗浄・分別について来場者の皆様の理解と共感を広げていく活動をサポートしていただきます。



### 平岩玄選手からのコメント

このたび、Re-CUP 広報大使に任命いただきました背番号 21 平岩玄です。このような機会をいただけたことを光栄に思います。この「Re-CUP プロジェクト」を 1 人でも多くの方に知っていただきたいです。ファンの皆さんにも積極的に参加していただき、アルバルク東京と東洋製罐グループ様が目指している持続可能なアリーナ運営の実現のために共に尽力していきましょう。よろしくお願いします。

### 【東洋製罐グループのオープンイノベーションプロジェクト「OPEN UP! PROJECT」】

東洋製罐グループは、これまで時代によって変化する世の中の課題に対して真剣に向き合い、「日本初の自動製罐」や「アイスクリームの紙コップ」、「世界初のレトルトパウチ」の発明など、容器のイノベーションに常に挑戦し続けてきました。そして今、人々が同じものを使い、食し、同じ生き方を求める「大衆の時代」から、それぞれが選んだ生き方を求める「個の時代」へと変化しています。その中で東洋製罐グループは、次の 100 年を創造するべく、大衆にとどまらない細かなニーズと一人ひとりが抱える課題に向き合うことでイノベーションを起こし、より豊かな社会の実現を目指すプロジェクト「OPEN UP! PROJECT」を発足しました。本プロジェクトを通じて、様々な社会課題解決に取り組んでいきます。



## 東洋製罐グループについて

東洋製罐グループは、金属・プラスチック・紙・ガラス等、それぞれの素材が持つ特性を活かした様々な容器をグローバルに提供する総合包装容器メーカーです。包装容器事業のほか、エンジニアリング・充填・物流事業、鋼板関連事業、機能材料関連事業、不動産関連事業の5つの事業を有しています。

当社グループは、社会や地球環境について長期的な視点で考え、すべてのステークホルダーの皆さまに提供する価値が最大化するよう、2050年を見据えた「長期経営ビジョン 2050『未来をつつむ』」を2021年5月に策定しました。当社グループの目指す姿・ありたい姿を「世界中のあらゆる人びとを安心・安全・豊かさでつつむ『くらしのプラットフォーム』」と位置づけ、「多様性が受け入れられ、一人ひとりがより自分らしく生活できる社会の実現」「地球環境に負荷を与えずに、人々の幸せなくらしがずっと未来へ受け継がれる社会の実現」を目指し、事業活動を推進していきます。

1917年に創立し、国内45社（東洋製罐グループホールディングス含む）、海外47社のグループ会社を擁し、約20,000人の従業員が働いています。2024年3月期の連結売上高は9,506億円です。

### ■お問い合わせ先

サステナビリティ推進部 コーポレートコミュニケーショングループ 中野利・柿本

TEL : 03-4514-2026 Mail : tskg\_contact@tskg-hd.com

以 上